

岩手県松尾村の風土イメージに関する調査研究

岩手大学 正員 安藤 昭 岩手大学 正員 赤谷 隆一
 岩手大学 正員 佐々木栄洋 岩手大学 学生員 中居 伸明
 岩手大学 学生員○下斗米宏章

1.はじめに

平成10年4月以降活発化した岩手山の火山活動は、岩手山麓地域の農林業、観光業等の地域経済に多大な被害を及ぼし、地域住民は災害に対する不安を抱きながら生活している。中でも、八幡平国立公園が位置する松尾村は、雄大な自然が生み出す景観と高山植物や動物が豊富に存在することから、貴重な地域遺産（自然遺産・文化遺産・産業遺産）を有する地域として広く知られているが、火山活動の影響はこれらの地域遺産の存在を脅かすばかりでなく持続可能な地域社会の形成を妨げるものであり、持続可能な地域づくりの理論構築が必要とされている。

2.研究の目的

本研究では、農村景観そのものが芸術作品となり得るような農村づくりを目指し、岩手県松尾村を対象にローカルイメージのキューピックモデル¹⁾を適用し、多元的評価主体による風土イメージを明らかにすることを目的としている。

3.松尾村の概要

岩手県松尾村は、人口7,195人（平成13年12月末日現在）、総面積233.48km²、岩手県岩手郡北西部に位置し、南に岩手山、西に八幡平を含む山々の連なる緑豊かな村であり、その恵まれた自然環境とそれを支える農業・観光業などの産業との調和が特色である。また昭和前期～昭和中期まで松尾鉱山が栄えたが、昭和44年に松尾鉱山事実上の閉山となってしまった。

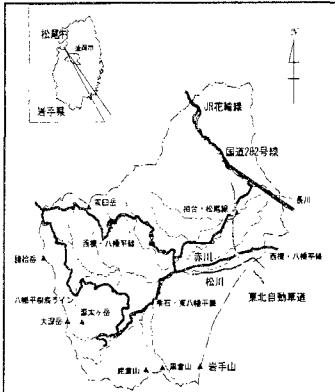


図1 調査対象地域

4.調査の概要

本調査では、多元的評価主体により風土イメージを把握するため、被験者を「松尾村を生活の場としている人（以下、「住民」）」「松尾村に育ち現在は他地域で生活している人（以下、「転出者」）」「松尾村を訪れたことのある人（以下、「来訪者」）」の3主体とし、その結果を比較・考察した。

調査の内容は次の(1)～(3)の通りである。

- (1)基礎調査 (2)視覚的（空間的）イメージの把握
- ①言語記述法 ③景観写真の撮影
- ②メンタルマップ法 ④景観写真を用いた分類と評価に関する調査
- (3)コンテクスト系イメージの把握
- ⑤制限連想イメージ調査

(1)の言語記述法に関しては、同一被験者に調査を繰り返すデルファイ法を用い、被験者集団の意見の収斂はなかった。なお、本稿では3主体での基礎調査として、言語記述調査（1回目）の結果を報告する。

5.調査の結果および考察

調査対象者の属性について表1に示す。

表1 調査対象者属性

調査名	評価主体	有効回答数		
		男	女	合計
言語記述調査 (1回目)	住民	125	52	177
	転出者	34	11	45
	来訪者	66	25	91

(1)イメージ再生数と再生順位について

表2 イメージ要素の総再生数と平均再生数

調査対象者	言語記述調査(1回目)	
	総再生数	平均再生数
住民	2259(346種)	12.84
転出者	639(212種)	14.20
来訪者	796(140種)	8.75

のとして、「岩手山（住民63.64%；再生順位1位、転出者73.33%；再生順位1位、来訪者37.36%；4位）」、「八幡平（住民55.11%；2位、転出者51.11%；2位、来訪者48.35%；2位）」、「松尾鉱山（住民48.46%；4位、転出者51.11%；2位、来訪者59.34%；1位）」「松川地熱発電所（住民34.09%；5位、転出者37.78%；4位、来訪者38.46%；3位）」が挙げられた。その他、それぞれの主体ごとで上位5位までに挙げられた要素は、住民が「山賊祭54.55%；3位」、転出者が「雪、松川33.33%；5位」等、来訪者が「アスピーテライン37.36%；4位」であった。

次に、3主体で再生された要素のイメージ再生百分率（以下、再生率）を縦軸に、再生順位を横軸にとり、3主体イメージ再生順位図を作成した。これを図2に示す。

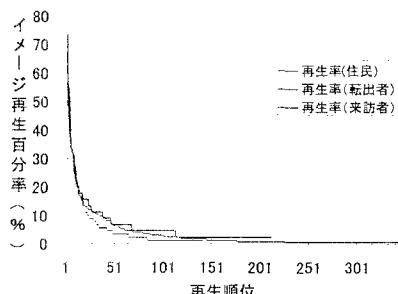


図2 住民・転出者・来訪者のイメージ再生順位図

ここで、対象地域のコア（核）になると考えられる再生率25%以上の要素をコア・エレメントと呼ぶものとする。また、12.5%以上の要素を地域のイメージ操作上の鍵と考えパブリック・キー・エレメント、6.25%以上の要素をパブリック・キー・エレメントに次いで大切にしなければならない要素という意味でセミ・パブリック・エレメントと呼ぶものとする。なお、再生率が6.25%未満の要素についてはパーソナル・エレメントと呼ぶものとする。

(2)主体別の固有イメージについて

次に前述のように、3主体のいずれかにおいて再生率6.25%以上を示した要素（セミ・パブリック・エレメン

ト)を抽出し、各要素の再生率について3主体ごとに有意差検定を行った。抽出した要素は、住民69、転出者72、来訪者52であり、重複を除くと90要素である。検定は、住民-転出者、住民-来訪者、転出者-来訪者についてそれぞれ行い(信頼度95%)、その結果を基にイメージ再生において3主体で固有な要素を選出した。この有意差検定の結果と3者の再生順位関係を示したのが表3である。さらに3主体の固有の要素について類似語同士をグルーピングし、ネーミングして整理した結果を図3に示す。

これより住民固有のイメージは、「祭・イベント」「都市施設」「郷土文化」「レクリエーション施設」の要素群から構成される。住民がよく利用する施設や近年整備された施設(さくら公園、松ちゃん市場等)、転出者の記憶から忘れられ来訪者まで知れ渡っていない自然や文化(長者清水、裸参り等)など、現在の住民固有の生活文化を表す要素群といえる。

転出者固有のイメージは、「自然」「遊び」「帰省」「祭・イベント」「交通・娯楽施設」の要素群から構成される。かつて松尾村で生活していた記憶が再生されており、特に自然と密着した生活を表す要素(山菜、竹の子、あけび等)が多い。以上の要素群は、里地の原風景を表しているといえよう。

来訪者固有のイメージは「観光・レク施設」「交通施設」「産業」の要素群で構成される。その全ての要素が観光地で有名な八幡平へつながるものである。

住民と転出者が共通に抱くイメージは、「郷土文化」「自然」の要素群であり、松尾村の風土文化に関する要素(金沢清水、湧水、歴史民俗資料館等)が挙げられている。一方、住民と来訪者が共通に抱くイメージは、「観光・レク施設」「交流施設」「都市施設」の要素群にまとめられ、そのほとんどが住民、来訪者によく利用されている施設である(スキー場、県民の森等)。また転出者と来訪者が共通に抱くイメージは、固有の場所ではない漠然とした自然のイメージ(田、寒い)しかなかった。そして、住民・転出者・来訪者の3者が共通に抱くイメージは、「自然」「産業」「交流施設」「観光・レク施設」などから構成されており、それらの要素のほとんどが有名な観光地や温泉となっている。以上より、松尾村の風土の特徴として、温泉、スキー場に留まらず、長者清水、金沢清水、湧水、トラウトガーデン、養鰐場等がイメージ再生されていることから、自然資源および産業資源としての水資源が松尾村の風土イメージの形成に大きくかかわっていることが明らかにされた。

【参考文献】

- 1) 駒井拓也(1997);『岩手県中山間地域における町のイメージ構造に関する研究』、修士論文

表3 イメージ再生要素のイメージ固有度判定結果

再生要素	住民		転出者		来訪者		イメージ固有度 (%に固有)	※※
	順位	再生率(%)	順位	再生率(%)	順位	再生率(%)		
喜平山	1	63.63%	2	73.33%	4	37.36%	●	●
八幡平	2	55.41%	2	51.11%	25	48.52%	●	●
山菜	3	54.54%	39	8.88%	28	8.79%	○	●
松葉	4	48.85%	2	51.11%	1	59.34%	●	●
松川熱電	5	34.09%	4	37.77%	3	38.46%	●	●
松川温泉	6	32.38%	7	31.11%	6	31.86%	●	●
長者屋敷	7	31.81%	—	—	35	5.49%	○	●
金沢清水	8	30.71%	5	29.00%	30	5.49%	●	●
湧水	9	27.84%	47	6.66%	10	20.87%	●	●
スキー場	10	26.70%	—	—	—	—	●	●
温泉	11	21.02%	10	22.22%	6	31.86%	●	●
夏祭り	12	18.75%	8	24.44%	—	—	●	●
アスピーテライン	13	17.04%	27	1.11%	—	3.36%	●	●
八幡平温泉郷	14	17.02%	47	6.66%	16	15.38%	●	●
さくら公園	15	16.47%	114	2.22%	43	4.39%	○	●
虹	16	15.47%	3	24.44%	9	25.27%	●	●
安比高原	17	15.90%	18	15.55%	49	3.29%	●	●
海	18	15.34%	39	8.88%	8	30.76%	●	●
長者清水	19	15.26%	1	—	35	5.49%	●	●
あけび	20	13.98%	14	17.77%	35	19.75%	●	●
木の太樋	21	13.06%	—	—	49	1.29%	●	●
木の太樋	22	13.06%	5	33.33%	16	15.38%	●	●
トラウトガーデン	23	12.50%	47	6.66%	14	18.68%	●	●
安比高原スキーリゾート	24	11.93%	—	—	23	9.89%	●	●
八幡平リゾートスキー場	24	11.92%	—	—	20	10.89%	●	●
新中和処理施設	24	11.92%	5	33.33%	32	9.89%	●	●
新中和処理施設	24	11.92%	—	—	25	8.79%	●	●
新七温泉	28	11.36%	—	—	12	19.78%	●	●
下戸スキー場	29	10.79%	69	4.44%	35	5.49%	●	●
八幡平国立公園	29	10.79%	47	6.66%	85	1.31%	●	●
新森林	29	10.79%	—	—	—	18.40%	●	●
八幡平スキー場	32	10.27%	—	—	—	12.088	●	●
木	32	10.27%	27	11.11%	43	4.39%	●	●
自然	35	9.65%	47	6.66%	18	12.088	●	●
裸参り	35	9.65%	—	—	—	—	●	●
ベンション	35	9.65%	—	—	25	9.79%	●	●
金沢清水	35	9.65%	69	4.44%	25	8.79%	●	●
金沢清水アートストリート	39	9.03%	69	4.44%	—	—	●	●
湧水	39	9.09%	27	11.11%	85	1.09%	●	●
温泉路	39	9.09%	114	2.22%	85	1.09%	●	●
田植踊り	42	7.95%	114	2.22%	—	—	●	●
水	42	7.95%	14	17.77%	30	—	●	●
モリオガエル	42	7.95%	59	4.44%	—	7.69%	●	●
歴史民俗資料館	42	7.95%	59	4.44%	—	—	●	●
山菜	48	6.81%	12	20.00%	49	3.29%	●	●
スキー	48	6.81%	14	17.77%	32	6.59%	●	●
湧水ハウス	50	6.25%	—	—	—	—	●	●
田	50	6.25%	10	2.22%	35	5.49%	●	●
大沼	61	3.29%	9	15.56%	—	—	●	●
山道	68	2.82%	19	15.56%	—	—	●	●
竹の子	102	2.60%	19	15.56%	—	—	●	●
山	—	—	19	15.56%	—	—	●	●
りんご	102	2.25%	19	15.56%	—	—	●	●
きのこ	88	2.82%	25	13.33%	—	—	●	●
—	—	25	13.33%	—	—	—	●	●
岩手県北バス	88	2.82%	28	11.11%	—	—	●	●
運動会	81	3.39%	28	11.11%	—	—	●	●
牧	145	1.13%	28	11.11%	49	3.29%	●	●
山	102	2.25%	28	11.11%	—	—	●	●
山祭り	88	2.82%	28	11.11%	49	3.29%	●	●
牧野	—	—	28	11.11%	—	—	●	●
焼走り	—	—	28	11.11%	—	—	●	●
野菜	177	0.56%	28	11.11%	—	—	●	●
お花	—	—	40	8.88%	—	—	●	●
道路	—	—	40	8.88%	—	—	●	●
人情	—	—	40	8.88%	85	1.09%	●	●
炊事	—	—	40	8.88%	—	—	●	●
JR北陸線	177	0.56%	48	6.66%	—	—	●	●
新中和	102	2.25%	48	6.66%	32	6.59%	●	●
新中和	—	—	48	6.66%	85	1.09%	●	●
空気	70	3.95%	48	6.66%	—	—	●	●
山祭り	102	2.25%	48	6.66%	—	—	●	●
シャクナゲ	177	0.56%	48	6.66%	30	7.69%	●	●
正月	—	—	48	6.66%	—	—	●	●
梅	118	1.69%	48	6.66%	—	—	●	●
金沢	102	2.25%	48	6.66%	—	—	●	●
電ヶ森	102	2.25%	48	6.66%	—	—	●	●
ブタロ	70	3.95%	—	—	18	12.088	●	●
学習院松原校舎	52	5.65%	—	—	20	10.989	●	●
別荘	—	—	—	—	10	10.989	●	●
温泉地	70	3.95%	—	—	25	8.79%	●	●
温泉地	—	—	—	—	32	6.59%	●	●

*※住民 - 転出者、住民 - 来訪者、転出者 - 来訪者の有意差検定に基づく

(信頼度95.0%、ただし再生率0同士の検定は優位差が見られないとした)

○: イメージの高さにおいて他の2社に対して固有

●: イメージの低さにおいて他の2社に対して固有

図3 住民・転出者・来訪者の固有イメージ構成

